

海から海へ

No.2 2004.2.29 【編集人】特定非営利活動法人
海から海へ 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町
4-2-11 エビスビル401 燦葉出版社内
TEL. 03-3241-0049 FAX. 03-3241-2269
Email: office@umi.or.jp URL: <http://umi.or.jp>



春 910x727 cMizuki Tanaka 2000

海から海へ は、瑞木さんの 60 余点の絵がいつでも誰でも見られるように、みずき美術館を設立する準備をしています。ご協力をお願いします。

お礼とお知らせ

白木蓮のつぼみが次第にふくらみを増しています。

昨年10月設立以来、皆様からたくさんの励ましをいただきました。年会費とご寄付は約50万円に達しました。ほんとうにありがとうございました。

私たちの活動は新聞でも取り上げられ^{注)}、記事を通して新たなつながりが生まれております。コピーを添付しますのでご覧ください。

おかげをもちまして、海から海へは調布の駅のすぐ近くにオフィスを開業する運びとなりました。その場で以下のような活動を行い、コミュニティの成熟に寄与していきたいと考えています。

みずき美術館へつなげる活動として、障がいをもつ画家田中瑞木の作品を展示します。年に6回ほど展示替えを予定しています。

「こころとふくしの相談室」を同オフィスの一室に開設いたします。専門家が、一般の方はもとより、障がいをもつ子の親御さんなどを対象とし、心理的福祉的相談にあたります。

障がいをもつ人の地域生活を支援するとともに、絵画制作などのワークショップ、研修などを開催し、ネットワーク形成に努めたいと思います。この場を基点として、地域の中でシンポジウムやコンサートも開催いたします。「こころとふくしの研究所」を併設し、心理・社会・福祉・医療・障害学と連携を保ち研究を行います。実践と調査研究に基づき、成果を国内外で発表するとともに、行政への提言も行っていきたいと思っております。

皆様のご支援ご協力を、今後ともよろしくお願い申し上げます。

2004年2月29日

特定非営利活動法人 海から海へ
理事長 阿部公輝

^{注)} リーダーな女たち「障がい者の娘と社会のために」NPO法人 海から海へ 副理事長 阿部愛子さん 毎日新聞 2004/2/20 夕刊

みずき美術館(プレみずき)

60点以上の絵画を一堂にご覧いただく「みずき美術館」ができるまでに時間がかかります。そこで、「プレみずき」をオープンし、皆様に2ヶ月に1度10点ずつ位の作品を見ていただけるようにいたしました。ようやく待望の本物との対面ができます。4号から100号の絵が皆様をお待ちしています。「明るくて、素朴で、やさしくて、力強い世界」と絵を見た方が感想を話されます。ことばはなくても絵を通じてこころを伝えることができます。どうぞおいで下さい。

4月11日～5月29日には、1998年4月調布市文化会館「たづくり」で開催の個展以降に描かれた、以下の作品を中心に展示いたします。

作品	タイトル	サイズ(mm)
55.	希望の人	910x727
56.	春	910x727
57.	温泉	910x727
58.	花火	1100x1100
59.	線香花火	430x430
60.	馬の家族	727x910
61.	ともだち	727x910
62.	ふたりの海水浴	910x727

火・水・金・土 10:00 18:00 open
月・木・日・祝 closed

開所記念パーティ

2004年4月11日(日)午後2時～5時
調布市小島町1-11-6 エンケ104

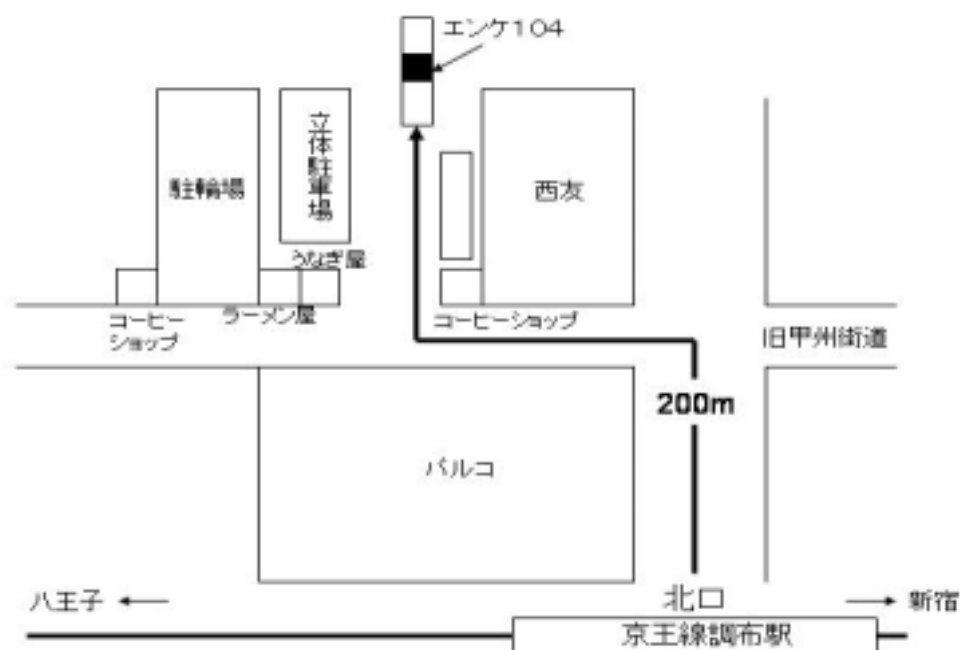
会費 1,000円

参加の方は電話、Fax、またはE-mailで
4月5日までにお知らせください

Tel&Fax 0424-41-2958 (3月15日より)

(15日以前は Tel 0424-87-2398 Fax 0424-87-7534へ)

office@umi.or.jp



こころとふくしの相談室

予約制ですので、まず、電話で受付をしていただきます。どうぞお気軽にご連絡ください。信頼できる専門家がお待ちしております。相談内容

- ・ 育児、療育、親子関係
- ・ 不登校、ひきこもり、思春期、教育
- ・ 仕事、人間関係、自己、ストレス、不安
- ・ 夫婦、家庭、親子、嫁姑
- ・ 障がいをもつ子の親
- ・ 障がいをもつ人の教育と地域生活
- ・ その他

カウンセリングのほかに、自律訓練法、ブレインセラピーや箱庭療法など有効な心理的療法も行うことができます。

初回 90 分、2 回目以降 50 分。詳しいことは電話でお問い合わせ下さい。

連絡先

Tel 0424-41-2958 (3月15日より)

E-mail ai@umi.or.jp

ソーシャルロールパロリゼーション

ウルフェンスパーガーが著したこの本^{注)}は、私たちにノーマリゼーションの理念の基になった理論を示しています。わかりやすく言うと、障がいをもつ人の役割が人々に知られることによって、その価値が肯定的に転換されるということです。

「嫌いな刺激対象の出現への、反射的ほとんど本能的に起る一般的な反応は、自分自身と不快な刺激との間に一定の距離を置こうとするものである。社会的に価値を引き下げられた人々は、多くの人によって不快と見られるので、彼等は拒否され遠ざけられる」と著者は言い、「したがって、彼等が社会的により肯定的な価値があるようになるためには、価値のある社会的な役割が獲得され、維持されなければならないという結論にいたる」と続けます。

注) W. ウルフェンスパーガー「ソーシャルロールパロリゼーション入門」富安芳和訳 学苑社 1995

「障がいをもつ人の役割」について、著者の目指すところは社会的統合です。そのためには、多くの分野の支援が与えられ、活用されなければなりません。コミュニティで人が集まり、相互作用が行われ、全生涯を通じてニーズを持つ人々に包括的な支援ができなければなりません。障がいをもつ人ももたない人も同じ人間として存在することから、多くの役割が生まれていることを理解し、人間性の全体を貫く基本的な考え方を実現していくことが、障がいをもつ人と私たちの大きな役割でもあります。

障がいをもつ人々はその存在だけで私たちに何かを手渡しているのではないのでしょうか。そのことに気づくことができる人たちのみがその恩恵を享受できます。何かができるとしたら、彼等から受け取ったものを土台に、私たち周囲の人間が全体の世界のために動くということだけなのです。4月11日、海から海へは始まります。

年会費：正会員 3,000円以上
協会員 1,000円以上
賛助会員(団体) 30,000円以上

振込先

口座名称：特定非営利活動法人
海から海へ

郵便振替：00110-0-684539 または
銀行口座：みずほ銀行 調布支店
普通預金 8082621

ご寄付の場合も上記宛にお願いします。

ボランティア募集

「プレみずき」の受付(曜日時間は相談可)
ジャム作り(調布のみかんを使ってマーマレードを作ります。)

4月3日(土)午後1時~4時

4月4日(日)午後1時~4時



おひなさま

455x530 cMizuki Tanaka 1987

編集後記

うれしさを体中で表す車椅子のAさんに会いました/私たちもいい顔をしたに違いありません/うまく言えないけれど、好きな人の名前を聞くだけで顔がパッと輝くMさん/その顔に向かい合えば、誰もがきっと同じ輝きを見せると思います/私たちの、そしてみんなの、大切な宝物/この人たちを通して私たちは響き合います/異なる場所で異なる時間を生きてきた人々が/精神の深みで/いとも容易に.../皆様からご支援をいただき、活動の場が定まりました/これからもよろしく願います/ (輝)

特定非営利活動法人 海から海へ

Eメールアドレス：office@umi.or.jp

HPアドレス：<http://umi.or.jp>

2004年2月29日 海から海へ No.2

発行責任者 阿部公輝

〒182-0026 東京都調布市小島町 1-11-6 エンケ 104

Tel&Fax 0424-41-2958 (3月15日より)

(15日以前は Tel 0424-87-2398 Fax 0424-87-7534へ)